

6 千葉の魅力発信

<東京オリンピック・パラリンピックを契機とした活性化>

○東京2020への機運醸成に向けた情報発信事業【新規】

(東京オリンピック・パラリンピック推進課・報道広報課) 30,000千円

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、県民の大会への関心を高めるため、県内開催競技関連の情報発信を集中的に行うとともに、SNSを活用した県民等からの情報発信を行います。

[事業内容]

- ・オリンピック・パラリンピック関連番組放送 24,236千円
- ・(仮称)千葉の魅力発信隊事業 5,764千円

○東京オリンピック・パラリンピックに向けたボランティアの確保・育成

(県民生活・文化課、国際課、観光企画課) 19,329千円 (H29 13,220千円)

東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を見据え、千葉を訪れる外国人観光客等へのおもてなしの充実に向けて、コミュニケーション支援体制を整備するため、ボランティアの育成に取り組みます。

また、30年夏頃、大会時に主要駅や空港等で活動する都市ボランティアの募集を開始します。

[事業内容]

- ・外国人おもてなし語学ボランティア育成講座 3,935千円
- ・通訳ボランティア養成講座 6,000千円
- ・外国語観光ボランティアガイド養成事業 1,500千円
- ・都市ボランティアの募集・運営【新規】 7,894千円

○多言語観光案内板整備事業(観光企画課) 10,000千円 (H29 10,000千円)

東京オリンピック・パラリンピックに向け、外国人観光客の受入体制を整備するため、外国語を併記した観光案内板の整備を進めます。

○東京オリンピック・パラリンピックCHIBA推進会議事業

(東京オリンピック・パラリンピック推進課) 16,300千円 (H29 6,444千円)

スポーツや観光、経済など多様な分野の代表者で構成する推進会議において、キャンプ・国際大会の誘致、競技力の向上、外国人の受入体制の整備など、具体的な取組をオール千葉体制で推進します。

[事業内容]

- ・推進会議活動費 9,345千円
- ・聖火リレー実行委員会活動費 6,247千円
- ・おもてなしプロジェクト推進費 708千円

○幕張メッセ大規模改修事業(経済政策課) 1,236,410千円 (H29 798,300千円)

(債務負担行為 1,435,000千円)

【特別会計日本コンベンションセンター国際展示場事業】

幕張メッセについて、今後の更なる競争力を確保していくため、老朽化が進んだ施設の大規模改修を継続していきます。

[総事業費] 約160億円(見込)

[計画期間] 15年間(平成28年度～42年度)

[平成30年度の主な事業]

- ・特別高圧受変電設備・高圧発電設備の更新 86,040千円
(債務負担行為 156,700千円)
- ・トイレ・中央エントランスのリニューアル 391,220千円
(債務負担行為 1,011,920千円)
- ・エレベーター、エスカレーターの更新及び増設 309,030千円
(債務負担行為 234,610千円)

○県立九十九里自然公園整備事業(自然保護課) 91,700千円 (H29 56,693千円)

東京オリンピック・パラリンピックを契機に、県立九十九里自然公園の利用の増進を図るため、サーフィン競技の会場に決定した一宮町釣ヶ崎海岸地区に自然公園施設(園地)を整備します。

○オール千葉おもてなし推進事業（観光企画課） 14,000千円（H29.9補正 7,000千円）

千葉県を訪れる多くの方々が「また千葉県に行きたい」と心から思えるよう、オール千葉での「おもてなし」の機運を醸成するための取組を行います。

[事業内容]

- ・おもてなしシンポジウム等の開催 10,100千円
優れたおもてなしを実践している事業者等を講師に招いたシンポジウムを県内3地域で開催
- ・おもてなし事例等の調査に基づくリーフレットの作成 3,900千円
東京オリンピック・パラリンピック開催の2020年において、ボランティア活動等の中心となる世代である県内の高等学校等の生徒に配付します。

○食のおもてなし力向上事業（流通販売課） 7,000千円（H29.9補正 8,000千円）

食に関しての魅力ある観光地づくりとおもてなし力の向上を図るため、農林水産物直売所や農林漁家レストラン等の関係者に対する研修を開催するとともに、観光客が本県ならではの「郷土料理」を知り、味わえる環境づくりを進めます。

[事業内容]

- ・農林水産物直売所等おもてなし力向上事業 1,500千円
- ・「ちばの郷土料理」再発見事業 5,500千円

○海外観光ゲストへのおもてなし力向上事業（観光企画課）

10,000千円（H29 10,000千円）

東京オリンピック・パラリンピック等に向け、県内の観光施設及び宿泊施設の経営者や従業員等を対象に、先進的なおもてなしについて情報を共有する講習会を行い、オール千葉でのおもてなし力向上を図ります。

[事業内容]

- 1 「おもてなしの心」向上研修 1,600千円
- 2 「おもてなしスキル」向上研修 8,400千円

○訪日観光客商店街おもてなし事業（経営支援課） 10,000千円（H29 10,000千円）

東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、日本を訪れる外国人観光客などを迎え入れるため、商店街が行う多言語による接客講習会や情報発信の取組を支援するとともに、新たに商店街の関係者を対象に訪日観光客へのおもてなし体制を整えるための研修会を開催します。

[事業内容]

- ・商店街おもてなし支援事業 7,000千円

[事業主体] 商店街団体、商工会・商工会議所

[補助対象事業] 訪日観光客おもてなし講習会、免税制度に関する講習会、多言語対応商店街ガイド（アプリ）・マップの作成 など

[補助率等] 補助率 1/2（補助限度額 3,000 千円）

- ・商店街おもてなしセミナー 3,000 千円

[対象者] 商店街関係者

[回数等] 6回

[内 容] ・インバウンドやショッピングツーリズムに関する最近の動向

・効果的なインバウンド対応の方法 ・インバウンド対応成功事例

○外国人観光客誘致のための公衆無線LAN環境整備事業（観光企画課）

100,000 千円（H29 100,000 千円）

東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、外国人観光客向けの無料公衆無線LAN環境を整備するため、市町村等が実施する取組に対し補助します。

[補助率] 2/3（補助限度額5,000千円）

[補助対象経費] 無線LAN利用カード作成費、ルーター設置費、会議費等

○外国人観光客向け千葉県周遊コースPR事業（観光企画課）

5,000 千円（H29 5,000 千円）

各国の観光客を県内観光地へ誘客するため、SNSを活用した外国人観光客ニーズ・動向調査の結果を踏まえて作成した県内周遊コースについて、冊子やSNS等を活用してPRを行います。

[事業内容]

・PR用ガイドブックの更新

・ガイドブック、SNS等を活用したPR

○オリンピック・パラリンピック文化プログラムを契機とした千葉の文化力向上事業

(県民生活・文化課) 23,992千円 (H29 13,618千円)

(債務負担行為 57,000千円)

東京オリンピック・パラリンピックの大会機運を醸成するとともに、本県の魅力を県内外に発信し、文化振興と地域の活性化を図るため、東京2020文化オリンピックの一環として、世代や障害の有無を超えて交流できる県民参加型の文化プログラムを実施します。

[主な事業]

- ・千葉・県民音楽祭実施事業 16,235千円 (債務負担行為 30,000千円)

東京オリンピック・パラリンピックのカウントダウンイベントと連携して、プロの音楽家と一般公募の県民による参加型コンサートを実施します。

- ・ちばアート祭実施事業 6,364千円 (債務負担行為 27,000千円)

千葉の文化的魅力を再認識してもらおう取組として、県民投票を踏まえ「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」を選定し、30年夏頃のカウントダウンイベントで公表するとともに、イベントを実施します。

<国内での魅力づくり>

○東京湾アクアライン料金割引事業（道路計画課） 500,000千円（H29 500,000千円）

地域経済の活性化、首都圏の交流・連携の強化等を通じ、千葉のポテンシャルをさらに高めるため、東京湾アクアライン通行料金の引下げを継続します。

[概要]

- ・ 内 容 ETC車を対象に普通車800円など、全日・全車種について引下げ

○観光地魅力アップ整備事業（観光企画課） 280,000千円（H29 300,000千円）

観光地の利便性を高め魅力向上を図るため、多くの観光客が利用する公衆トイレや駐車場、観光案内所等の設置・改修について、その経費の一部を助成します。

[事業内容]

1 観光トイレ

- ・ 市町村施設 補助率：2/3以内
- ・ 民間施設 補助率：3/4以内

2 トイレ以外

- ・ 市町村施設 補助率：2/3以内
- ・ 民間施設 補助率：1/2以内（市町村補助1/6と合わせて2/3）

○県立施設トイレ改修事業

（自然保護課、公園緑地課、港湾課、生涯学習課、文化財課、体育課）

255,090千円（H29 134,470千円）

県立施設のトイレについて、施設の魅力向上を図るために、改修工事を行います。

[事業内容]

- | | |
|-------------------|-----------|
| ・ 自然公園施設等トイレ改修 | 5,060千円 |
| ・ 都市公園・港湾施設トイレ改修 | 105,320千円 |
| ・ 社会教育施設トイレ改修 | 40,350千円 |
| ・ 総合スポーツセンタートイレ改修 | 104,360千円 |

○ちばアクアラインマラソン開催事業（体育課） 140,000千円（H29 47,000千円）

スポーツを通じた健康増進や体力向上の促進と、千葉県が有する様々な魅力の発信のために、東京湾アクアラインを活用した「ちばアクアラインマラソン2018」を開催します。

[開催日程] 平成30年10月21日（日）

[種目等] フルマラソン 12,000人（参加料 12,500円）

ハーフマラソン・車いすハーフマラソン 5,000人（参加料 9,500円）

○ちばアクアラインマラソン開催に伴うPR事業（観光企画課、流通販売課）

30,000千円

「ちばアクアラインマラソン2018」の開催にあたり、参加者に農林水産物や飲料を配布するほか、来場者向けに観光物産展や抽選会などの観光PRを実施します。

[主な事業]

- ・ 県産農林水産物や飲料の配布、県産農林水産物のPR 10,000千円
- ・ スタート・フィニッシュ地点における物産展 7,735千円
- ・ 沿道における応援及び物産・観光PR 10,265千円

○マラソンランナー優待キャンペーン（観光企画課）

33,000千円

「ちばアクアラインマラソン2018」を契機として、県内観光を促進するため、参加選手を対象に、県内の宿泊施設で利用できる優待券を配布します。

[事業内容]

- ・ 事業に協賛する県内宿泊施設で利用できる宿泊優待券の配布
- ・ 夏休みシーズンから利用可能

○千葉の魅力発信推進事業（報道広報課、観光企画課）

212,500千円（H29 191,000千円）

千葉の魅力を県内外に発信するため、「ちばアクアラインマラソン2018」を活用し、ランナー募集期から大会までの広報を行うほか、チーバくんを活用したインターネット動画の配信等を行います。

[主な事業内容]

・テレビ（在京キー局）による映像情報発信	83,191千円
・ラジオを活用した情報発信	24,020千円
・新聞広告	8,460千円
・交通広告	7,840千円
・アクアラインマラソンを活用した魅力発信	33,500千円
・インターネット動画配信	16,136千円
・マスコットキャラクター「チーバくん」による情報発信	21,963千円
・観光物産情報ラジオ番組	10,500千円

○県産農林水産物魅力発信事業〔一部再掲〕（流通販売課、畜産課、水産課）

45,821千円（H29 37,570千円）

県民及び首都圏の消費者等に向けて、県産農林水産物の魅力を発信するため、トップセールスをはじめとしたPR活動やキャンペーン活動を実施します。

[主な事業]

・知事によるトップセールス	2,210千円
・千葉県フェアの開催	9,436千円
・「チバザビーフ」「チバザポーク」PR活動	2,155千円
・「千葉の海」丸ごと満喫事業	2,870千円
・千葉ブランド水産物普及事業	500千円
・県産食材を利用する飲食店の拡大推進	2,000千円
・商談会の開催及び出展	8,255千円
・PR冊子、ポスター作成等	3,440千円
・ちばアクアラインマラソン開催に伴うPR	10,000千円

○観光プロモーション事業（観光誘致促進課） 92,118 千円（H29 87,325 千円）

ちばプロモーション協議会による全県統一キャンペーンや、季節に応じた観光プロモーションを展開します。また、中京圏や北海道等からの教育旅行のさらなる誘致に取り組みます。

[事業内容]

・ちばプロモーション協議会による観光キャンペーン	34,500千円
・テレビ・ラジオ等を活用した情報発信	26,000千円
・各種ガイドブック等の作成	28,618千円
・教育旅行誘致事業	3,000千円

○鉄道を活用した周遊観光プロモーション事業（観光誘致促進課）

21,000千円（H29 25,000千円）

県内での新たな観光需要等を掘り起こすため、鉄道・バス事業者、市町村、観光事業者等と連携し、フリー切符など鉄道を活用した県内周遊プロモーションを実施します。

[事業内容]

- 1 県内周遊フリー切符の販売 15,000 千円

[利用路線] 県内の主要路線、ローカル線 等

[主な誘客エリア] 東総、九十九里、中房総、南房総エリア等

[販売期間] 9～11 月（3 か月）

[有効期間] 2 日間

- 2 沿線の観光スポットのサービスを組み合わせた鉄道旅行商品の販売 6,000 千円

[対象路線] 京成電鉄、新京成電鉄、北総鉄道（京成グループ）等

[主な誘客エリア] 東葛飾、北総、ベイエリア

[販売額・販売期間] 販売商品ごとに設定（2 千枚）

○宿泊・滞在型観光推進事業（観光企画課） 40,000 千円（H29 40,000 千円）

経済効果の高い宿泊・滞在型観光の促進を図るため、市町村等が行う地域の観光資源を活用したモニターツアーや観光イベントなどの取組に対し助成します。

[事業内容]

- ・補助先：市町村または市町村が構成員となる団体
- ・補助率：1/2以内、2/3以内
- ・補助限度額：①複数市町村域内での取組 5,000千円、6,000千円
②単独市町村域内での取組 2,000千円、2,500千円

○期間限定アンテナショップ事業（観光企画課） 20,000 千円（H29 20,000 千円）

農林水産物や観光をはじめとした、本県の魅力を幅広く情報発信するとともに、市場動向の調査を行うため、都心に期間限定でアンテナショップを出店します。

[事業内容]

- ・設置場所：J Pタワー・KITTE地下1階 東京シティアイ
- ・設置期間：1 か月間（11月頃を想定）

○県内発着バスツアー優待プロモーション事業（観光誘致促進課）

10,000 千円（H29 10,000 千円）

鉄道駅・成田空港などから観光地までを繋ぐため、新たに定期観光バスの運行又はバスツアーの造成を行う事業者に助成します。

[補助対象] 県内及び首都圏の旅行会社・バス会社等

[補助内容] 新規定期観光バスの運行又は新規バスツアーの造成1本につき5万円

[実施時期] 秋以降

○千葉県映画・テレビ等撮影支援事業（観光誘致促進課）

31,000千円（H29 20,000千円）

（債務負担行為 20,000千円）

観光客の一層の増加及び地域経済の活性化を目的として、県内の魅力的な観光スポット等を広く発信する映画やテレビ番組等のロケーションにかかる費用に対し助成します。

[補助率] 1/2

[補助限度額] 大規模な撮影に係るもの 5,000千円以内

上記以外 500千円以内

[補助対象経費] 県内での宿泊費、施設使用料、食糧費 等

○成田空港活用協議会負担金（空港地域振興課） 25,000千円（H29 25,000千円）

成田空港を活用した県経済の活性化を図るため、官民が連携して設立した「成田空港活用協議会」の事業費等の一部を負担します。

[協議会事業（予定）]

- ・成田空港を活用した経済活性化
- ・成田空港を利用する人流・物流の拡大

○成田空港周辺における地域活性化策実現戦略策定事業【新規】（空港地域振興課）

16,000千円

成田空港の更なる機能強化の検討にあわせて、空港周辺地域において幅広い分野にわたる地域活性化を実現するため、特区制度の活用や規制改革、民間企業との連携等も含めた課題解決方策の調査検討を行い、平成31年度には「(仮称) 実施プラン」を策定します。

[想定される検討分野]

- ・企業誘致（物流・加工産業の誘致による国際物流機能の強化）
- ・観光振興（トランジットツアーの魅力拡大）
- ・農業振興（担い手を確保し新技術を活用する新しい農業のあり方の実現）
- ・災害対策（空港周辺の移転跡地などを活用した備蓄物資拠点の充実）
- ・教育・子育て（空港関連産業を支える人材の育成、地域雇用拡大に応じた保育環境整備）

○移住・定住促進事業（政策企画課、担い手支援課、企業立地課）

51,080 千円（H29 53,880 千円）

移住・定住を促進し、地域の活性化を図るため、引き続き、本県の魅力を伝えるための情報発信や、移住・定住を希望する方を対象にした都内での相談会を開催するとともに、空き公共施設を活用した企業進出支援など市町村等と連携した施策を実施します。

[事業内容]

（総合的な情報発信・市町村支援）

- ・全国規模の移住・定住イベント等での情報発信 2,479 千円
- ・移住関連情報の収集・分析、市町村情報の情報発信委託 11,328 千円
- ・市町村の移住・定住窓口職員の研修会 393 千円

（農林水産業就業支援）

- ・新規就農者向け相談窓口設置・研修会 15,780 千円
- ・プロ農家での新規就農者向け長期研修等 5,100 千円

（民間企業の進出支援）

- ・空き公共施設等を活用した企業進出支援 16,000 千円

<海外への魅力発信>

○外国人観光客向けプロモーション事業（観光誘致促進課）

38,320千円（H29 38,320千円）

成田国際空港を擁する優位性等を活かして、外国人観光客を積極的に誘致するため、海外国際観光展でのPRや商談会等を実施します。

[主な事業内容]

・海外国際観光展・現地商談会への参加	24,327千円
・現地旅行会社・メディア等招請事業	4,468千円
・観光ミッション団派遣事業	5,706千円
・国内インバウンド商談会	1,000千円

○世界に向けた千葉の魅力発信事業（国際課、報道広報課）

58,000千円（H29 61,000千円）

千葉の魅力を世界に発信するため、本県の魅力を紹介する世界向けテレビ番組の放映や、チーバくんを活用した情報発信に取り組みます。

[主な事業内容]

・チーバくんを活用したプロモーション	21,664千円
・県内在住等外国人のSNSによる母国語での情報発信	1,688千円
・外国プレス・海外現地メディアを活用した海外への情報発信事業	3,226千円
・成田空港ターミナルビルへの歓迎メッセージの掲出	8,700千円
・世界向けテレビ番組の動画の放映等	6,722千円

○海外における知事トップセールス（総合企画部・商工労働部・農林水産部）

20,000千円（H29 20,000千円）

知事のトップセールスにより、海外における交流の促進と農水産物の販路拡大、観光客の誘致等を図ります。

[想定訪問先] アジア地域

[予定内容] 農水産物フェア、観光商談会、現地関係者との交流会 等

○「世界に飛び出せ千葉の農林水産物」輸出促進事業〔一部再掲〕

(流通販売課、畜産課、水産課) 41,900千円 (H29 41,250千円)

県産農林水産物の輸出を拡大するため、これまでのトップセールスの効果を生かし、PR活動や輸出に取り組む生産者・団体への支援を行います。

[主な事業]

- ・知事によるトップセールス 2,000千円
有望な輸出先であるアジア地域において、知事のトップセールスを実施します。
- ・海外における千葉県フェアの開催 9,000千円
海外のデパート等で千葉県フェアを実施します(タイ、マレーシア、シンガポール等)。
- ・バイヤー招へい商談会の開催 5,400千円
海外輸出を行う国内外のバイヤーを産地に招へいして商談会を開催し、生産者団体の輸出の取組を支援します。
- ・千葉の農林水産物輸出促進事業 19,000千円
海外販路の拡大を図るため、輸出に取り組む生産者等に対して支援します。

[実施主体] 市町村、農協、漁協、営農組織等

[補助率] 1/2以内

[対象事業]

(ソフト事業) 農林水産物の海外販売促進活動、輸出向け商品開発、輸出環境整備等

(ハード事業) 輸出向け生産・出荷調整設備、商品の輸送・保管改善設備等

- ・千葉ブランド農水産物・食品輸出協議会事業 5,500千円

県内農林水産・食品企業に対する輸出実務支援、輸出商談会の実施、海外見本市への出展等に対して支援します。

[実施主体] 千葉ブランド農水産物・食品輸出協議会

[補助率] 定額

○訪日教育旅行誘致事業(観光誘致促進課)

38,343千円 (H29 34,986千円)

近年増加傾向にある海外からの教育旅行をさらに拡大するため、積極的な誘致活動を展開します。

[対象国(地域)] 台湾、マレーシアを予定

[事業内容]

- ・教育旅行プロモーション事業 6,952千円
- ・教育旅行関係者招請事業 6,756千円
- ・教育旅行資料作成事業 3,160千円
- ・千葉県訪日教育旅行促進協議会負担金 2,400千円
- ・教育旅行の連絡調整体制の整備 19,075千円

○訪日団体旅行客向けバスツアー支援事業（観光誘致促進課）

29,670千円（H29 18,295千円）

県内で周遊・宿泊する外国人団体旅行客の増加を図るため、海外旅行会社等が県内での観光・宿泊を伴う訪日団体旅行を造成した場合に、団体用バスを手配します。

[実施時期] 平成30年10月から平成31年2月

[対象] 海外旅行会社等

[内容] 海外旅行会社が造成したバスツアーに対し、1日あたり3万円の負担金で団体用バスを配車

[条件] 県内有料観光地へ1ヶ所以上の立ち寄り、かつ県内に2泊以上宿泊すること

○海外の大学生を対象にしたモニターツアー事業（観光誘致促進課）

20,000千円（H29 20,000千円）

千葉県観光の魅力を広く海外にPRし、近年増加傾向にある外国人観光客の誘致促進を図るため、海外の大学生を対象としたモニターツアーを実施します。

[対象国（地域）] 台湾、タイ、マレーシアを予定

[参加者数] 各10名程度

○国際会議開催補助金（経済政策課）

10,750千円（H29 20,000千円）

県内経済の活性化につながる国際会議の誘致競争力を強化するため、会議開催経費の一部を助成します。

[補助対象経費] 会場借上費、機材関連費、看板印刷物制作費 等

[補助率] 1/2以内

○成田国際空港店舗内ミニアンテナショップ事業（観光企画課）

6,000千円（H29 4,000千円）

外国人向け県産品の認知度向上や販売促進を図り、合わせて新たな商品開発のためのデータを取得するため、ミニアンテナショップとして成田国際空港内の店舗に県産品を取り扱うコーナーを設置します。

[事業内容]

・設置場所：ちばトレードセンター（第1ターミナルビル）

ぼうきょう（第2ターミナルビル）

・設置期間：通年